

【What's 類型】 参照：「令和2年度版 とっとり ICT 活用ハンドブック」 鳥取県教育委員会
 今回の類型は…「C4」です。いよいよ類型グランドフィナーレです。「C4」はなかなか実践しにくいですが、有事の際には教員、児童ともに必要なスキルになります。この図は文部科学省の「学びのイノベーション事業」実証研究報告書を引用。

ここが
POINT

- ・Web 会議システムを活用し、オンライン授業、分散登校、在宅学習を行う。臨時休校だけでなく、不登校支援、外部講師との連携等、教室の機能を拡張させることができる。
- ・遠隔地と Web 会議システムで結ぶことで、各地の専門家からも助言をもらいながら学習を進めることが可能

▶C4：学校の壁を越えた学習



遠隔地や海外の学校等との
交流授業

《ICT！（いまこそ、チェックタイム）》

- web 会議システムを使った経験がある。
- web 会議システムの会議を開始できる。
- web 会議システム上で資料の共有表示ができる。
- web 会議システムのチャット機能を使うことができる。

高山市の環境なら Zoom や teams など

【ICT 活用実践紹介】

【花里小 先生の実践】

教科：算数

活用ツール：「metamojiclassroom」「Numbers」

類型：B（個別学習：思考を深める）

内容：データの活用

1. 【児童】自分の聞きたい質問を「ノート」に書く。
2. 【児童】それぞれが仲間の質問に答える
3. 【児童】仲間の回答を集計する。
4. 【児童】集計したデータを「Numbers」に入力し、グラフを作成。
5. 【児童】できたグラフをメタモジに貼って発表。

感想：教員がシートを作るより、既習の技術を使えば児童でもノートを作ることができる。やっている中で、児童から、「名簿をノートに貼り付ければ、集計するとき楽だったかも。」と聞いて、「なるほど、確かに！」と思った。

今回はレベル
高め



【岡田のおもいつ記】

今回の実践紹介のように、児童の方が効率的な使い方を思いついたりします。教員としてはうれしい瞬間です。児童が主体的に課題に取り組む姿がそこにはあると思います。今回の実践では、「Numbers」というアプリを使いました。これは、エクセルのようなもので、表計算やグラフを作ることができます。総合学習や算数などで使えるようなものですね。